



アッセンブリッジ・ナゴヤ 今年度のプロジェクト・参加アーティスト・音楽家発表

アッセンブリッジ・ナゴヤは名古屋の港まちを舞台に「アーティスト・イン・レジデンス (Artist in Residence) = AIR」を中心とした活動を実施するプログラムです。

今年度も国内外のアーティストや音楽家などが参加する複数のプロジェクトを実施します。

プログラムでは、海外の団体と協働してアーティストを招へいし、港まちで滞在制作する「港まち AIR エクスチェンジ」、旧・名古屋税関港寮の一部を公募で選出した国内の表現者にスタジオとして提供する「アッセンブリッジ・スタジオ」、クラシック音楽を基軸とする音楽家が港まちに滞在し、演奏の練習の公開やまちにある施設などに出向き、音楽を届ける「レジデンス・アンサンブル プロジェクト」など複数のプロジェクトを基軸に、アーティストや表現者がまちに滞在し制作や活動を行うことで、まちや人びとが芸術と出会い、つながりながら、新たな文化が育まれていくことを目指します。

この度、各プロジェクトの概要と参加アーティスト・音楽家を発表します。今年度は国内のアーティストや音楽家に加え、海外アーティストの参加も予定しており、港まちを舞台にさまざまな活動を広げます。ぜひご期待ください。

今年度の主なプロジェクト

- 港まち AIR エクスチェンジ (海外アーティストを招聘するレジデンスプログラム)
- アッセンブリッジ・スタジオ (国内のアーティスト向け、スタジオ事業)
- レジデンス・アンサンブル プロジェクト (音楽をまちなかに届けるプログラム)
- 港まちの社交場《NUCO》(さまざまな人や活動に開かれたまちの社交場)

お問い合わせ アッセンブリッジ・ナゴヤ (AssemblebridgeNAGOYA) 実行委員会事務局
〒455-0037 名古屋市港区名港 1-19-18 3F
TEL|052-972-3172 * 平日 9:00-17:30 (名古屋市観光文化交流局文化芸術推進課)
E-mail | contact@assemblebridge.nagoya(事務局)、press@assemblebridge.nagoya(広報)

「港まち AIR エクスチェンジ 2022」

トゥラポップ・セーンチャルーン (タイ・バンコク) の参加が決定

海外からアーティストを招へいし、港まちでの滞在・活動をサポートし交流するアーティスト・イン・レジデンスプログラム。今年度はタイ・バンコクにあるスペース「The Reading Room」と協働し、コミュニティーに関わるプロジェクトを行うアーティストを選出しました。滞在期間中には、トゥラポップ氏の映像作品の上映、アーティスト・トーク、オープンスタジオなどを予定しています。



港まち AIR エクスチェンジ 2022

期間 | 2022 年 秋頃を予定

場所 | 旧・名古屋税関港寮 (名古屋市港区浜 2-4-10)

アーティスト | トゥラポップ・セーンチャルーン

アーティストプロフィール

トゥラポップ・セーンチャルーン Tulapop Saenjaroen

アーティスト／映画監督

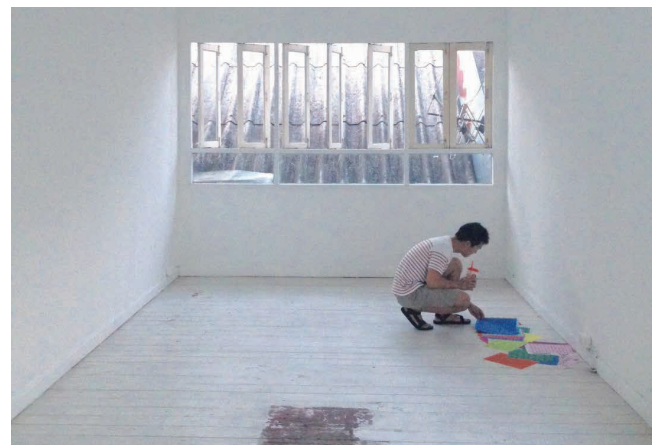
1986 年タイ・チョンブリ生まれ、バンコク在住。

パフォーマンスをベースにした参加者とのコラボレーションによる映像作品や、イメージと主体の相互関係や資本主義社会における支配と自由についてのパラドックスについて問う映画作品などを制作する。名古屋港では、港湾地域の労働、環境、コミュニティーに目を向け、リサーチを行う予定。

Web | tulapop.wordpress.com



《People on Sunday》2019, 2020



CREATIVE WRITINGS: COLLECTION 1
《“I WANT TO BE AN ARTIST”》2013, 2015



「アッセンブリッジ・スタジオ 2022」3組のスタジオアーティストが決定

旧・名古屋税関港寮の一部を国内の表現者にスタジオとして提供する「アッセンブリッジ・スタジオ」では公募により、粟坂萌子、Elliott Haigh + Nana Sawada、中野岳の3組が今年度のスタジオアーティストに決定しました。

2023年3月までの期間、スタジオを拠点にそれぞれの活動を広げます。期間中にはオープンスタジオなどのイベントも開催予定。

アッセンブリッジ・スタジオ 2022

期間 | 2023年3月まで

場所 | 旧・名古屋税関港寮 (名古屋市港区浜 2-4-10)

スタジオアーティスト | 粟坂萌子、Elliott Haigh + Nana Sawada、中野岳



旧・名古屋税関港寮

スタジオアーティストプロフィール

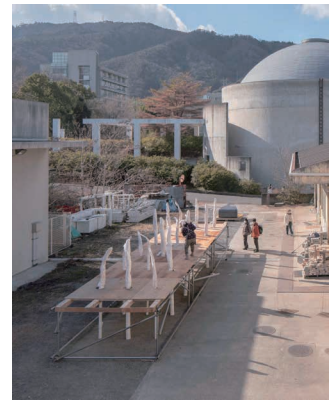
粟坂萌子 Moeko Awasaka

1998年岐阜県生まれ、同地在住。

ものごとの「身体」や「身体性」に着目し、日常目に見ている事象、ふるまい、繰り返している行為を観察し、それらを様々な素材や自身の身体に置き換え、彫刻やインスタレーション、パフォーマンスなどを発表。身体性を意識した解釈を通して得られる、軽やかな身体像の創出につなぐ表現を探っている。

近年の主なグループ展に「半自動手職」(京都芸術大学、京都、2022年)、「エクササイズ」(Gallery COCOTO、京都、2021年)、「ものとかすひと」(千鳥文化 / コーポ北加賀屋、大阪、2021年)、CAF 賞 2020 入選作品展「世界の中心まで掘ってまったもんで、末端で山の稜線を描いてみた。」(代官山ヒルサイドテラスF棟ヒルサイドフォーラム、東京、2020年) などがある。

Web | www.instagram.com/awako.213/



《地中の妄想より》 2022 撮影 | 顧 剣亨

エリオット・ヘイグ + 澤田奈々 Elliott Haigh + Nana Sawada

アーティスト・デュオ

エリオット・ヘイグ (1995年イギリス生まれ) と澤田奈々 (1996年愛知県生まれ) によるアーティストデュオ。ロンドンで活動後、現在は愛知県を拠点とする。

野生生物や自然界とのつながりについて彫刻やインスタレーションで表現し、自然環境への理解へと働きかける作品を制作・発表。異なる場所や環境での経験をもとに、それぞれの場所に根ざした素材や形を使用し具現化することで、その土地特有の自然と社会のつながりを表現している。また、芸術を通して自然に関する知識や経験を共有するプロジェクト『The Liminal Voice』を企画、運営。近年の主なグループ展に、「みなとメディアミュージアム 2020 → 2021」(みなとメディアミュージアム、茨城、2020年)、「Re: Issue We Broke It to Learn How to Fix It」(Oped Space、東京、2020年)、「KuBa: kulturbahnhof 成果発表展」(KuBa: kulturbahnhof、ドイツ、2019年) などがある。また、2022年には、8月に「鳥の体のしくみ展」(稲永ビクターセンター、愛知)、10月に「亀山トリエンナーレ」(亀山市、三重)での展示も予定している。

Web | www.theliminalvoice.com



《Time Line》 2021

中野岳 Gaku Nakano

アーティスト

1987年愛知県生まれ、同地在住。

2017年よりポーラ美術振興財団在外研修員としてドイツに滞在したほか、メキシコ、中国、フィンランドなど世界各地に滞在し制作を続ける。

さまざまな土地や地域で「スポーツのような身体運動を新たに創作する」という一つのプロジェクトを実践。その過程で他者や自身を取り巻く環境と関わることで、地域の社会や文化などを深く見つめる。近年の主な個展に、「棒馬棒」(gallery N、愛知、2022年)、「Relational Dialogue」(Token Art Center、東京、2020年)、「Somehow the mosaic looks nice.」(児玉画廊、京都、2015年)、主なグループ展に、「Rezepte für währenddessen und danach」(Neuer Kunstverein Aschaffenburg、ドイツ、2018年)、「Zufällige Wiedergabe」(Galerie Interart、Stuttgart、ドイツ、2017年) などがある。

Web | www.gakunakano.com



《Musical Chairs》 2018



「レジデンス・アンサンブル プロジェクト」 実施概要決定

クラシック音楽を基軸とする音楽家が港まちのイベントや各施設での演奏、練習の公開、コミュニティセンターでの音楽相談やセッションなどを展開し、さまざまな人と音楽を通じたコミュニケーションを図ることで、社会基盤としての文化芸術の拡充を目指すプロジェクト。

今回は、昨年度から同プロジェクトに参加するアンサンブル・ヴィオレ、クピパ・トリオの2組が継続して活動を行います。地域に浸透し、クラシック音楽が港まちの日常の風景に溶け込みます。



昨年度のレジデンス・アンサンブル プロジェクトの様子

レジデンス・アンサンブル プロジェクト

期間 | 2023年3月まで

場所 | 名古屋港～築地口エリア各所

音楽家 | アンサンブル・ヴィオレ、クピパトリオ ほか

音楽家 プロフィール

アンサンブル・ヴィオレ Ensemble Violet

木管五重奏団

2017年結成。愛知県立芸術大学に所縁のあるメンバーで構成された木管五重奏団。全国各地から集まったわたしたちが愛知から全国へ。「小さな幸せ」を音楽で届けたい。そんな気持ちを「すみれ-Violet-」の花言葉に込めて。

結成から愛知を中心に東海地区で様々な演奏活動を行い、2018年4月に初のリサイタルを開催し、同年9月に第2回リサイタルを開催。2018年11月、フランス・パリにて開催された第92回レオポルド・ベラン国際コンクール室内楽部門にて2等賞を受賞。またフランス・パドカレ県にある聖ヴァレリー教会にて演奏会を行い、好評を博す。2020年2月、公益社団法人のべおか文化事業団より招聘をうけ、宮崎延岡市延岡総合文化センターにて「音楽の散歩道 vol.30 アンサンブル・ヴィオレ リサイタル」に出演。

他にも愛知県内各所小学校の音楽教育演奏訪問や、名古屋栄のオアシス21にて開催される「なごやウィメンズ・クラシック」、ノリタケの森での音楽会への出演、地域貢献演奏、愛知県主催・障がいを持つ方のためのアート展「あいちアール・ブリュット」における解説付演奏会や、名古屋市中川運河で運行される水上バス「クルーズ名古屋」において水上コンサートを行うなど、活動の場を広げている。

室内楽を村田四郎、青谷良明、原田綾子、橋本岳人、根本雄伯の各氏に師事。

アッセンブリッジ・ナゴヤでは2021年に参加。



クピパトリオ

岡林和歌（クラリネット）、白神由美子（ピアノ）、美郷（パーカッション）からなるクラシックから、ジャズ、ポップスまでジャンルにとらわれず活動する個性豊かな3人組。0歳から100歳まで楽しめる音楽を！をモットーに活動中。愉快！痛快！爆笑の渦！今日はどんなネタが飛び出すのか？！乞うご期待！

2014年3月ミュージカル「ひまわりのおか」上演をきっかけに結成。これまで、保育園、幼稚園、小学校から敬老会、地域のお祭り等に招かれている。豊田市参合館での「こどもと一緒に MUSIC」シリーズでの定期的な公演をはじめ、知多半島春の国際音楽祭など各種イベントなどで公演、アッセンブリッジ・ナゴヤでは2019、2021年に参加。



港まちの社交場 《NUCO》（ニューシーオー）

アッセンブリッジ・ナゴヤが始まった 2016 年に、約 20 年間空き家だった元・寿司屋が、アーティストユニット LPACK. のプロジェクトとして、建築家や大工、「空き家再生プロジェクト」参加者らとともに改修し、まちの社交場《UCO》（ユーシーオー）を開きました。2018 年に UCO 一帯の長屋群が取り壊しとなりましたが、その後、向かいの空き家を借り受け、2019 年に新たな活動の拠点《NUCO》を始動。ガラス扉や内部のカウンターなど、UCO から部材を移設し、UCO と NUCO の両空間が持つ機能が編み込まれるように設計することで、NUCO がかつて編み物教室だった歴史を継承しています。現在は年間を通して、有志が集まったメンバーを中心にカフェを運営しながら、まちの社交場として活動しています。



港まちの社交場 《NUCO》

オープン日時 | 木曜、金曜、土曜 OPEN
12:00-18:00 (L.O.17:30)

* 第2・第4金曜日 12:00-20:00 (L.O.19:30)

* 新型コロナウイルスの感染状況によっては、
変更休業の可能性あります。

場所 | NUCO (名古屋市港区名港 1-18-4)

Instagram : @nuco.nagoya






アッセンブリッジ・ナゴヤ

アッセンブリッジ・ナゴヤは音楽と現代美術のフェスティバルとして、名古屋の港まちを舞台に2016年よりスタートしました。2015年度から2020年度まで、音楽やアートが架け橋となり、港まちにある公共空間や空き家を会場に、これまでの歴史や人びとの暮らしに向き合いながら、アーティストとともに展覧会やコンサート、イベントなど多様なプログラムによるフェスティバルを毎年開催してきました。

2021年度からはこれまでのフェスティバル形式ではなく、「アーティスト・イン・レジデンス (Artist in Residence) = AIR」を中心とした、新たな活動が始動し、AIRに関わるアーティストによる展覧会やコンサート、イベントなど、多彩な音楽やアートの企画をこの港まちから発信し、豊かな時間を多くの人に届けています。

主催
アッセンブリッジ・ナゴヤ 実行委員会
構成団体 | 名古屋市、港まちづくり協議会、名古屋港管理組合、公益財団法人名古屋フィルハーモニー交響楽団、公益財団法人名古屋市文化振興事業団

助成
2022年度 文化庁 アーティスト・イン・レジデンス活動支援事業 

協力
愛知県防水工事業協会

※プレスリリースは、公式ウェブサイト内プレスページよりダウンロードいただけます。

<http://assemblebridge.nagoya/2021-/press.html>

※広報用画像のご希望の際は、お手数をお掛けいたしますが下記までお問合せください。

アッセンブリッジ・ナゴヤ (AssemblebridgeNAGOYA) 実行委員会事務局

〒455-0037 名古屋市港区名港 1-19-18 3F

TEL | 052-972-3172 * 平日 9:00-17:30 (名古屋市観光文化交流局文化芸術推進課)

E-mail | contact@assemblebridge.nagoya (事務局)

press@assemblebridge.nagoya (広報)

※新型コロナウイルス感染症の状況等により、実施内容等が変更となる場合があります。
最新情報はウェブサイト、SNSにてお知らせします。

Website <http://assemblebridge.nagoya/>

Facebook <https://www.facebook.com/assemblebridge.nagoya/>

Twitter <https://twitter.com/assemblebridge>

Instagram <https://www.instagram.com/assemblebridge.nagoya/>

Youtube <https://www.youtube.com/c/AssemblebridgeNAGOYA>

Website



Facebook



Twitter



Instagram



Youtube

